

理学療法学科（課程レベル）アセスメント・ポリシー

1. ディプロマ・ポリシー

ディプロマ・ポリシー	
DP1	理学療法について基本的な知識を身に付け、適切に理解して活用することができる。
DP2	理学療法を提供するために必要な技能を身に付け、活用することができる。
DP3	グローバル化及び少子高齢化が進む社会において求められる語学力、情報リテラシー、組織運営のマネジメントについて理解し活用することができる。
DP4	理学療法の提供に必要な倫理観を身に付け、人の尊厳について理解し行動することができる。
DP5	国内外を問わず、急速に変化する社会情勢に目を向けながら、医療、保健、福祉に関する問題に関心を持ち、その理解に向けて考え行動することができる。
DP6	習得した知識・技能を活かして、主体的に目標を立てて行動し、課題を発見し、解決に努めることができる。
DP7	生涯学習する意欲と能力を身に付け、多職種間で連携・協働するための知識、コミュニケーション能力、思考力、協調性を持って行動することができる。

2. アセスメント・ポリシー

#	アセスメント項目	アセスメント・プラン	対応するDP								責任主体	備考
			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7			
1	理学療法国家試験受験率	4年生在籍数に対する国家試験受験者数から国家試験受験率を算出し、専門職養成課程の修了見込み者をアセスメントする。	○	○		○	○	○			教授会、学科会議	
2	理学療法国家試験合格率	国家試験受験者に対する合格者数から国家試験合格率を算出し、専門職養成課程としても学びの到達状況をアセスメントする。	○	○		○	○	○			教授会、学科会議	
3	臨床実習前試験 (客観的臨床能力試験)	各学年で行われる臨床実習前に客観的臨床能力試験を実施し、当該学年で到達すべき知識・技術の修得状況をアセスメントする。	○	○	○	○			○		教授会、学科会議	
4	科目成績（臨床実習）	臨床実習での成績評価から、当該学年で到達すべき知識・技術の応用・活用状況についてアセスメントする。	○	○	○	○	○	○	○		教授会、学科会議	
5	科目成績 (成績分布状況：全科目)	科目の成績分布状況から、専門職養成課程としての学びの進行状況をアセスメントする。	○	○	○	○	○	○	○		教授会、学科会議	
6	GPA	年間GPAの推移から、学生の知識の習熟状況をアセスメントする。	○	○	○		○	○	○		教授会、学科会議	
7	選択科目履修状況	選択科目の履修率から、学生の興味関心状況をアセスメントする。	○	○	○	○	○	○	○		教授会、学科会議	
8	外部模試成績	外部模試成績から理学療法知識の修得状況をアセスメントする。	○								教授会、学科会議	
9	課外活動参加率	理学療法に関する課外活動・ボランティアへの参加状況からアセスメントする		○			○	○	○		教授会、学科会議	

理学療法学科（課程レベル）新旧DPマッピング表

◆新DPと旧DPの比較

新ディプロマ・ポリシー (2022年度入学生から適用)	
DP1	理学療法について基本的な知識を身に付け、適切に理解して活用することができる。
DP2	理学療法を提供するために必要な技能を身に付け、活用することができる。
DP3	グローバル化及び少子高齢化が進む社会において求められる語学力、情報リテラシー、組織運営のマネジメントについて理解し活用することができる。
DP4	理学療法の提供に必要な倫理観を身に付け、人の尊厳について理解し行動することができる。
DP5	国内外を問わず、急速に変化する社会情勢に目を向けながら、医療、保健、福祉に関する問題に関心を持ち、その理解に向けて考え行動することができる。
DP6	習得した知識・技能を活かして、主体的に目標を立てて行動し、課題を発見し、解決に努めることができる。
DP7	生涯学習する意欲と能力を身に付け、多職種間で連携・協働するための知識、コミュニケーション能力、思考力、協調性を持って行動することができる。

旧ディプロマ・ポリシー (2021年度入学生まで適用)	
DP1	リハビリテーションの一翼を担う専門家としての、より質の高い理学療法を提供するため、基礎医学、臨床医学、理学療法評価学、理学療法治療学、保健、医療、福祉、地域支援に関する知識を有する。
DP2	組織運営に関するマネジメント、理学療法倫理、理学療法教育に関する知識を有する。
DP3	少子高齢化・情報化・グローバル化など時代特有の問題や、急速に変化する社会情勢に関する知識を有する。
DP4	自らのもつ倫理観を涵養し、倫理的姿勢と行動をもって人の尊厳を守り、多職種間で連携し協働した活動ができるための知識を有する。
DP5	先進的理学療法を提供するため、理学療法評価技能、理学療法治療技能、地域理学療法・予防活動に貢献できる技能を有する。
DP6	組織運営に関するマネジメント、理学療法倫理、理学療法教育について理解しそれらを実践できる能力を有する。
DP7	多職種間で連携し協働できるためのコミュニケーション能力、協調的で論理的な思考能力を有する。
DP8	自ら課題を発見し解決を図ることができる。
DP9	自ら目標を立て行動することができる。
DP10	変化や未知の問題への対応力を養う。
DP11	倫理観をもち、人の尊厳について理解し行動できる。
DP12	多職種間で連携するための態度を身につける。
DP13	日本および世界における医療・保健・福祉に関する問題や、急速に変化する社会情勢などに興味を持ち理解しようとする態度と思考を有する。
DP14	理学療法士の責務である臨床・教育・研究に関して理解し、医療施設や介護施設にとどまらず社会全体から希求される事柄に対応できる能力と価値観を有する。

◆新DPと旧DPのマッピング

新DP	旧DP													
	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10	DP11	DP12	DP13	DP14
DP1	<u>DP1</u>													
DP2	<u>DP5</u>													
DP3	<u>DP2</u>	<u>DP3</u>	<u>DP6</u>											
DP4	<u>DP2</u>	<u>DP4</u>	<u>DP6</u>	<u>DP11</u>										
DP5	<u>DP1</u>	<u>DP10</u>	<u>DP13</u>	<u>DP14</u>										
DP6	<u>DP8</u>	<u>DP9</u>												
DP7	<u>DP4</u>	<u>DP7</u>	<u>DP12</u>											

備考